

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2021 年 6 月 30 日作成 第 1.0 版

研究課題名	胃粘膜下腫瘍に対する LECS 及び LECS 関連手技の後ろ向き前向き観察研究
研究の対象	2014 年 6 月～2026 年 10 月の間に、横浜市立大学附属市民総合医療センターで 50mm 以下の胃粘膜下腫瘍の手術を受けた患者さんを対象とします。
研究の目的	胃粘膜下腫瘍に対する内視鏡と腹腔鏡を併用した手術の有効性と安全性を検証することを目的としています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、胃粘膜下腫瘍に対する LECS（腹腔鏡内視鏡合同手術）及び LECS 関連手技の有効性と安全性について検討します。通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 西暦 2033 年 10 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の項目	<p>以下の 2014 年 6 月から 2031 年 10 月までに日常診療で実施された項目を本研究で使用します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者基本情報：診察情報 2) 術前診断：術前画像診断法、術前病理診断 3) 血液検査(白血球、ヘモグロビン、血小板、AST、AST、ALP、γ-GTP、Cre、BUN、TP、Alb、T.Bil、D.Bil、CRP) 4) 治療内容、周術期経過 5) 病理学的所見 6) 有害事象 7) 予後
試料・情報の 授受	本研究では、外部機関との検体・情報の授受はありません。
個人情報の管 理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう対応表とよばれる個人と識別コードを対応させた表を作成しますが、その表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

試料・情報の管理について責任を有する者	研究責任者：横浜市立大学附属市民総合医療センター病院内視鏡部 平澤 欣吾
利益相反	本研究で開示すべき利益相反はありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属市民総合医療センター 内視鏡部 （研究責任者）平澤 欣吾
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 内視鏡部（研究責任者）平澤 欣吾 （問い合わせ担当者）澤田 敦史</p> <p>電話番号：045 - 261-5656（代表）</p>	